

# 1章 『バトルとアイドル』 8

突如、セシルとカノンの前に現れた異形の敵・九谷焼姫の放った九谷焼の皿がカノンの体に直撃した瞬間、皿は無数の蛇に変化した。  
蛇はトグロを巻いて、カノンの腕や足、首にぐるぐるともたわりつく。  
「へ、へハイハイ、セシル、どうかして！」  
カノンが絶叫してセシルに助けを求めた。  
「今は無理！」。セシルも悲鳴を上げた。  
セシルもセシルで、全長4メートルを超える巨大な蛇を眼前に、今まさにへびに睨まれたカエル状態となっていた。こ

## あみこん娘 The NOVEL

⑮

酒井 直行

の大蛇も九谷焼姫が投げた皿が変化したものだった。

「その大蛇は、巨大な牛さえも生きたまま丸呑みするサイズよ。そして向こうのは小さいけれど猛毒を持っているわ。ふふ

「ご当地萌えキャラなんてウソじゃん。あなた、本当は蛇の

魔物なのね！」。カノンが、シャーシャーと不気味な威嚇音を立てながら全身にまとわりつく無数の毒蛇に身を震わせながら叫んだ。

カノンが天を仰いだ。

「どうしようもこうしようも、私たちが戦ったこともないんだし、無理だよ！」  
セシルが弱音を吐いた。  
その時だった。

叫んだ。

「失礼なこと言うわね。私は正真正正、賀市のご当地萌えキャラよ。もつとも今は非公認だけどね。そもそも、全国に散らばる萌えキャラが全て正義や善意の産物だと思ったら大間違いなのよ」  
九谷焼姫が失笑した。  
「セシル！ どうしよう！」



キャラクター原案 松原 秀典  
イラスト 那智 泉

「カノン、セシル！ スティック、いや、あみあみどっこいしょ棒に念じるんだ！」  
突然、2人の頭の中にあみさんの声飛び込んできた。  
見上げると、空中に、あみたんが浮かんでいた。

「あみたん！」。セシルが声を上げた。「念じるって、何を!」  
「へびをやっつけるイメージを持つんだ！」  
「そんなの、とっくの昔にやってるわ！ でもいくら念じても、何にもならないのよ！」。  
カノンが悲痛に叫んだ。

ふ。どちらで殺されるのがお好みかしら」  
九谷焼姫がペロリと舌なめずりした。可愛い顔して、彼女の舌の先は二つに割れていた。

「ご当地萌えキャラなんてウソじゃん。あなた、本当は蛇の魔物なのね！」。カノンが、シャーシャーと不気味な威嚇音を立てながら全身にまとわりつく無数の毒蛇に身を震わせながら叫んだ。